科目ナンバリング	G-LAS11 80016 LJ55						
授業科目名 <英訳>	数学・数理科学キャリアパス Career Paths in Mathematics and Mathematical Sciences			担当者所属 職名・氏名	理学研究科　教授　　加藤　毅		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	キャリア形成系			使用言語	日本語
旧群		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・ 通年集中	曜時限	集中	配当学年	大学院生	対象学生	理系向

（理学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

本科目は、数学・数理科学を学んだのちに企業等で活躍している方たちと、学生が交流を深めることで、数学・数理科学が実社会でどのように役立てられているか、理解を深めていくことを目的とする。企業等から講師を招いてセミナーを行う。また「京都大学理学共創イノベーションコンソーシアム」または「異分野異業種研究交流会」に参加してポスター発表等を行うことで、企業との交流の促進を図るとともにプレゼンテーションの実施技能を高める。

[到達目標]

数学・数理科学が産業界や経済界においてどのように活用されているか、知見を広める。

[授業計画と内容]

(1) 授業担当教員によるオリエンテーション（5月ごろに実施）
(2) 企業等から講師を招いて開催するセミナーを年度あたり２回程度開催し、産業界や経済界において数学・数理科学がどのように活用されているか、具体的なニーズとともにわかりやすく解説を行う。
(3) 履修者は、企業との交流の場として開催される研究交流会等において少なくとも１回、ポスター発表等を行う。

研究交流会の例１．理学研究科が主催する産学交流の場である「京都大学理学共創イノベーションコンソーシアム」での研究交流会
研究交流会の例２．日本数学会・日本応用数理学会・統計関連学会連合が主催する数学・数理科学における若手研究者を対象とした産学交流の場である「異分野異業種研究交流会」

本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目であり、本科目の詳細はコースwebサイトにも掲載する。

[履修要件]

大学院における主要な研究テーマが数学・数理科学を基盤とする分野であること。

[成績評価の方法・観点]

セミナー及び指定の研究交流会への参加状況により、総合的に判断する。

[教科書]

授業中に指示する

数学・数理科学キャリアパス(2)へ続く↓↓↓

数学・数理科学キャリアパス(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

指定の研究交流会でのポスター発表の準備を行う。

[その他（オフィスアワー等）]

本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目であるが、
コース履修に関わらず本科目のみ履修することも可能である。

[主要授業科目（学部・学科名）]